

トーキングロード  
噺家人生 山あり、谷あり

〔第64回〕

## 笑点と師匠

✦ 文 林家希林

text by Kirin Hayashiya ✦

師匠木久扇が半世紀以上出演してきた『笑点』を勇退いたしました。年齢も86歳なのでここまで第一線で活躍し続けてきてお疲れ様でした、という気持ちと物心ついた時から日曜日のお茶の間で観ていた黄色いスターが観られないというのは寂しい気持ちになりました。

よく「歳をとってから環境を大きく変えちゃいけない」みたいなことを聞いていたので、師匠は元気でいてくれるか？などの心配を弟子として勝手にしておりました。

しかし戦争を経験した師匠木久扇はそんなことではびくともしない精神の持ち主でした（笑）

まず初めにとりかかったのは木久扇ラーメンを復活させることでした。既にラーメン販売のことで頭がいっぱいになっているようでした。

「希林もラーメン売り頼むよ」と今から話しております。ちなみにゴールデンウィークは浅草演芸ホールの前で売っております…。

また『笑点』は勇退ですが、落語家をやめるわけではないので落語の仕事で大忙しのです！私の心配など余計なことでした！

希林も師匠に負けなように活躍して次期笑点メンバーになりたいと思います！

これからもよろしくお願いします！

さて、『笑点』といえは何十年も続くあのテーマ、

「ちゃんちゃかちやかちやか ちゃんちゃん」と聞こえてくれば「ああ、もう夕方か」としみじみ思う人も多いのではないのでしょうか。

「先々の時計になれや小商人」  
こあきうんど

昔の人は「あ、八百屋さんが来たから何時だ」「もうお豆腐屋さんが来る時間なのね」と。

その売り声で時間を知ったなんて話があります。

納豆屋さんは「なあつとなつとお」とねばつこく、魚屋は「おーいわしつ、いわしつ！」と威勢が良い感じに売り声を出す。

ある日「おーいわしつ、いわしつ！」と魚屋が威勢よく言うと、後ろから篩屋さんが「ふるい、ふるい」と来るもんだから喧嘩になったなんて話も。

木久扇ラーメンにも売り声あるのかって？

笑点メンバーの師匠方が「まずい、まずいっ！」ってあんまり言うもんだから、

「いったいどれほどなんだろう」ってけっこう売れたんです（笑）

ある意味これも名売り声だったのかもしれませんね。



## profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。

2009年林家木久扇に入門

2013年二ツ目昇進。

2023年9月下席より真打昇進。林家木りんから「希林」に改名。身長192cmと、落語協会一の高身長！

趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。

空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。

初の著書『師匠!』発売中

林家希林とかしめ・洋平の今夜は話さナイト

出演 林家希林、立川かしめ、大西洋平

毎週土曜日 24:30～25:00

K-mix（静岡FM）で好評放送中!

radiko プレミアムにご登録いただくと生放送にてお聴きいただけます。静岡エリアの方はradikoにて一週間タイムフリーでいつでも!